



# ITU-T SG20 (IoT及びスマートシティ)



株式会社NTTデータ  
経営研究所  
アソシエイトパートナー

わたなべ としやす  
渡邊 敏康



株式会社NTTデータ  
経営研究所  
シニアコンサルタント

おおつか さとし  
大塚 智史



株式会社NTTデータ  
経営研究所  
コンサルタント

ささき としや  
佐々木 俊哉

## 1. 会合概要

ITU-Tにおける国際標準化活動のうちIoT及びスマートシティ分野を対象とするSG20会合が、2020年12月16日に開催された。2017～20年会期としては8回目、通算11回目の開催となる。なお、本会合は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、電気通信標準化局（TSB）が開発したWebベースの電子会議ツール「My Meetings」を用いたリモート会議の形態で開催された。

今回会合はこれまでのSG20会合とは異なって、2020年7月に開催された第7回SG20会合においてTAP（伝統的承認手続）によって凍結（Determined）された3つの勧告案に対する審議を目的とした1日のみの開催となった。

## 2. 主要結果

ITU-Tにおける公式発表によれば以下のとおり。

- ・参加者数：60名（うち、日本からの出席者は5名）
- ・TAPによって承認することが合意された勧告草案：2件
- ・TAPによる承認を延期することが合意された勧告草案：1件

## 3. TAPに基づく勧告案に対する加盟国諮問（Member States consultation）の結果

2020年7月に開催された第7回SG20会合では、TAPによってITU-T勧告Y.4559（work title: Y.UAV-BSI）、Y.4471（work title: Y.NDA-arch）、Y.4908（work title: Y.IoT-EH-PFE）の3つの草案が凍結（Determined）された。その後、TAPによる加盟国諮問が実施された。加盟国のうち8か国が2020年12月4日の期限前に返答、1か国が期限後に返答した。加盟国からの返答のうち、70%以上がこれらの勧告草案の承認をSG20会合の場で検討することを支持したものであったことから、ITU-T勧告 Y.4471、Y.4559及びY.4908の3つの草案の承認審議を進める権限をSG20に付

与するための条件は満たされた。

## 4. 審議概要

上記のとおり、今回会合では3つの勧告草案の承認について審議された。それぞれの勧告草案に対する審議結果の概要は以下のとおり。

### (1) Y.4471 (旧名: Y.NDA-arch) : Functional architecture of network-based driving assistance for autonomous vehicles

審議の結果、ITU-T勧告 Y.4471の草案承認については次回の2021年5月に開催予定のITU-T SG20会合に延期することが合意された。また、ITU-T SG16 Question 27、Collaboration on ITS Communication Standards (CTIS) 及びFocus Group on AI for autonomous and assisted driving (FG-AI4AD) に対して、ITU-T勧告 Y.4471の草案に関する最新の進捗を情報共有するとともに、2021年3月31日を期限として同勧告草案へのコメントを求めることを目的とした連絡文書を送付することが合意された。

### (2) Y.4559 (旧名: Y.UAV-BSI) : Requirements and functional architecture of base station inspection services using unmanned aerial vehicles

審議の結果、ITU-T勧告 Y.4559を承認することが合意された。

### (3) Y.4908 (旧名: Y.IoT-EH-PFE) : Performance evaluation frameworks of e-health systems in the IoT

審議の結果、ITU-T勧告 Y.4908を承認することが合意された。また、同勧告草案に関する最新の進捗を情報共有することを目的とした連絡文書をITU-T SG16及びFocus Group on Artificial Intelligence for Health (FG-AI4H)



に送付することが合意された。

## 5. 今後の会合予定

次回SG20会合は2021年5月17日～27日に今回と同じくリモート会議の形態で開催される予定が示されている。

## 6. おわりに

本稿では、2020年12月に開催されたITU-T SG20第8回会合の審議結果について報告した。

今回会合においても前回会合以前から見られていた、SG20において新規勧告作成に積極的な国（中国、エジプト）と消極的な国（アメリカ、カナダ、イギリス）との対立構図がはっきりと見受けられた。（今回、審議された3つの勧告草案が全て中国提案のものであった。）上記の流れを踏まえ、我が国としてのSG20会合参加に際しては、我が国の方針に照らし合わせつつ、勧告策定の様々なフェーズにある文書やその審議状況等を幅広く注視し、今まで以上に我が国のスタンスを明らかにした活動を推進していくことが望まれる。

■表1. 伝統的承認手続（TAP）によって承認することが合意された勧告草案

課題番号	勧告番号（旧作業項目名）	勧告名	関連文書番号	エディタ所属国
Q4/20	Y.4559（Y.UAV-BSI）	Requirements and functional architecture of base station inspection services using unmanned aerial vehicles	SG20-R12	中国
Q7/20	Y.4908（Y.IoT-EH-PFE）	Performance evaluation frameworks of e-health systems in the IoT	SG20-R13	中国

■表2. 伝統的承認手続（TAP）による承認を延期することが合意された勧告草案

課題番号	勧告番号（旧作業項目名）	勧告名	関連文書番号	エディタ所属国
Q3/20	Y.4471（Y.NDA-arch）	Functional architecture of network-based driving assistance for autonomous vehicles	SG20-R11	中国

## ITUが注目しているホットトピックス

ITUのホームページでは、その時々ホットトピックスを“NEWS AND VIEWS”として掲載しています。まさに開催中の会合における合意事項、ITUが公開しているICT関連ツールキットの紹介等、旬なテーマを知ることができます。ぜひご覧ください。

<https://www.itu.int/en/Pages/default.aspx>